
妹、プレゼントします！

光鷹

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

妹、プレゼントします！

【Nコード】

N0107B

【作者名】

光鷹

【あらすじ】

「妹をプレゼントしましょう」「そんな事を言われたらあなたは何を期待しますか？

(前書き)

警告

実際はこんな手紙が届いたり、妹がプレゼントされたりなどという事は起きません。

「妹、プレゼントします!」は節度、常識を守ってご愛読下さい。

「妹が欲しい」

常日頃からそう思っている俺の元に嬉しい手紙が届いた。

「妹、プレゼントします」

その手紙にはそう書かれていた。裏面には日時、会場の場所、注意事項などが書かれていた。

そして、当日、俺は慣れないタキシード姿でプレゼントの会場に向かっていた。電車内でも、俺の仲間と思われる人物が十数人程乗っていた。もつとも、その中には俺を含めていわゆる

「アキバ系」

といった感じの人物は一人もいなかった。まあ、主催者側が選んで手紙を出しているだけだろう。

そして、会場に着いた。会場には俺の仲間と思われる人々が百人程集まっていた。俺は受付で手続きを終えて待合室に入った。

待合室は一面がガラス張りで室内が丸見えになっていた。

そして、しばらく経つとガラス張りの壁の向こう側に小さい女の子から高校生位の女の子までの女の子達が現れた。人数は、だいたい兄候補と同じ位である。そして、女の子達がこちらを次々と指差してきた。やはり、どの人が兄になったら嬉しいかどうかという話でもしているのだろうか。

それから5分位経った…

一人の係員が待合室に入ってきた。そして、係員は次々と妹候補を連れてきた。

「可愛いな…」

と思いながら見ていると、一人の小学5年生位の女の子が俺に向か

ってこう言った。

「このお兄ちゃん俺の物」
「ラッキー こんな可愛い女の子に選ばれるなんて…って『選ばれる』？。俺は疑問を感じていたが、次の一言で全ての謎が解けた。『じやあ、お兄ちゃん 俺の家に行こう、お兄ちゃんは俺の物なんだから』」

なんのことはない。

この企画の正式名称は

「お兄ちゃんプレゼントします！」
だった。

しかし、俺は後悔はしていない。俺の妹は、世界に名を轟かせる大会社の副社長の娘だった。今では、俺は妹のガードマン兼お兄ちゃん。俺は数奇な巡り合いをした妹を永久に守っていかうと思った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0107b/>

妹、プレゼントします！

2010年10月9日05時51分発行